

生物育成の技術の今後

名前

解答

解答

問1 生物育成の技術のデメリットは何か。

生物の遺伝子を操作し、目的に合った品種に改良する技術、除草剤、殺虫剤などが人体に影響を与えるおそれがある

問2 動物の育成過程で動物の苦痛やストレスを最小限に抑えるように配慮する考え方を何というか。

(動物福祉)

問3 生物が持つ機能を効率的に利用する技術を何というか。

(バイオテクノロジー)

問4 ロボット技術、人工知能、情報通信技術などを活用した農業を何というか。

(スマート農業)

問5 栽培した植物を腐らせず、土に混ぜて肥料にすることを何というか。

(緑肥)

問6 農産物の安全確保、農業生産における環境保全や労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みは何か。

(GAP(農業生産工程管理))

問7 GAPでは、どのようなことが行われるか。

(農業生産の各工程の記録、点検及び評価)

問8 GAPの取組が正しく実施されていることを第三者機関の審査により、確認・証明してもらうことで何を取得できるか。

(GAP認証)

問9 水耕栽培と魚の養殖を掛け合わせた生産システムを何というか。

(アクアポニックス)

問10 水耕栽培とは何か。

(土を使わずに水だけで植物を育てる栽培方法)

問11 品種改良によって新しい品種ができた場合、何を行うことで新品種として登録されるか。

(種苗法に基づいて農林水産省に品種登録の出願を行い、審査を通過することで登録される)

